

2021.12.23. No.404
おきがくろうニュース
沖縄学校事務労働組合



自らの要求は自らの手で！

カンパ送付先

郵便振替 02090-0-2239

沖縄学校事務労働組合

okigakurou2017@
gmail.com

組合はダレのためにあるのか！？

～私が JIMJIM に加入した理由～

「労働組合」について

どの様なイメージをお持ちでしょうか。

私は、沖学労に入るまでは、利己的で嫌な組織だと思っていました。その理由は、遡ること十数年前、高校卒業して就職した某企業の労働組合との出来事にあります。某企業では、入社日の日程の最後には、必ず組合説明会が入っており、有無を言わず新入職員全員が組合加入させられている状態でした。組織率は90%近かったと記憶しております。入社4年目の時、会社で大幅な給与改定が行われました。しかし、高卒が適用される1級の給料表は改定が行われませんでした。(ちなみに高卒者は、入社5年目に2級に自動昇格。)私は激怒し、組合に「交渉に1級の労働条件が上らないなら、2級に昇格するまで組合をやめさせてください」と伝えましたが、「この機会に一緒に活動しましょう」と的外れな答えが返ってきました。その時には、退職が決まっていたので組合とはこれ以上争いませんでしたが、腑に落ちない思いでした。

実は、労働組合との出来事はこれで終わりではありません。次に就職した某独立行政法人でも組合嫌いになる出来事が起こります。(出産祝い金が貰えるという不純な動機で加入)私の職場では、正職員、准職員、特定職員、アシスタント職員と雇用形態が分かれていました。(全員フルタイム)私は、部署の組合の世話役に、「特定職員、アシスタント職員にもボーナスを支給できないか」と話しをしてみました。

すると、「当局からは予算(総支給額)が決まっているので、特定職員・アシスタント職員にボーナスを支給するとなると、正・准職員のボーナスを減額する。といわれており、執行委員の中にも自分のボーナスが減らされると困ると思っている人もいるから、大々的に議題に上げるのは難しい。」と伝えられました。雇用形態は違えども一緒に働く仲間の労働環境改善を要求しない組合って何なのだろう。そんなこんなとしている間に産休育休に入り学校事務へ転職が決まりました。

学校事務としてのスタートは児童数550名の学校でした。右も左も分からず四苦八苦している中、4月末に届いたJIMJIM。強く感銘を受けました。毎号、毎号読む中で、学校現場の理不尽さや新しい情報を得ることができました。個人的に人事評価制度や教育行政について相談にのっていただき、紆余曲折あり、採用5年目に沖学労に加入しました。沖学労は沖教組のような大きな組織ではありません。お祝い金等や助成の制度自体ありません。本当に手弁当でひとりひとりの思いで成り立っている組織です。職場で理不尽な思いをした時、相談できる場所がここにあります。あなたの声をお聞かせください。

※※※※※※ 御礼 ※※※※※※※

このJIMJIMは、皆さまの善意によって450校へ送付されております。カンパをくださりお名前(郵送先)が分かる方には、毎月送付させていただいております。匿名で振込してくださる方へ。この場をかりて御礼申し上げます。皆さまのご厚意、本当に本当に感謝で胸がいっぱいです。

後悔先に立たず。対岸の火事ではない。

組合で執行委員を務めている私ですが、今年度宮古地区へと異動となりました。5級地離島から本島に戻ってきて3年、すぐの3級地離島です。正直、高を括っていました。子どももいるし、個別の事情もあるから、離島には異動にならないだろうと。離島→本島→離島の話をも自分事として捉えることができずでした。認識があまかった。不当労働行為で内示の変更を求めましたが、「(執行委員であることを) 調書に書いていないから知らなかった」と言われ、生活の基盤である住居問題(調書に記載済み)で、人事委員会、県議会議員にも働きかけてもらいましたが、「管理運営事項」をたてに、変更に応じることはありませんでした。個人的に、教育庁へのFAX、内容証明も行いました。法務局や労働局等にも電話をして、何とか手立てがないか探りました。分かったのは、一度決まった決定事項を覆すのは難しく、決まる前の一手が大切だったということです。

ちなみに、沖教組に相談したところ、「事前相談がなかった人は、仮に組合員であっても玉突き人事で多くの人に迷惑を掛けるから、組合交渉の対象にしない。」とのこと。どっちを向いて活動しているのか。1人ひとりの声に耳を傾けるのが組合のはずなのに、全体の利益のためには、個人を切り捨てるのでしょうか。しかし、大きな組織では致し方のない事なのかもしれませんし、沖学労が組織された理由もそこなのです。少数職種の学校事務職員の処遇は教員と相容れない部分が多々あります。ここ数年、離島異動の絵図を書いた人事課班長は、島尻地区の大規模校の校長へ栄転しました。多くの少数職種の苦情処理を座視し、のうのうと平地校の校長の椅子に座っています。悔しさの連鎖を止めるために

も皆さんの「困りごと」を団体交渉の場に提起しませんか。(個人情報伏せます) 人事異動・人事評価・パワハラ等々、自分と同じ苦しみも他の人に飛び火する前に沖学労と共に手立てを考え行動してみませんか。

「愚か者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」ビスマルクの言葉です。今回の人事ではまさに私は、愚か者です。組合に入ったからといって、特段優遇されることは無いのかもしれませんが。しかし、自分一人の力では見つけることのできない手立てを教えてくれる仲間がいます。納得のいかない事を当局と直接対峙できるチャンスが手に入れます。自分の納得ができるまで動いた結果と何もしなくて出た結果とでは、結果が同じでも心のわだかまり具合がちがいます。今現在は、「勤務条件の措置の要求」の審査中です。措置要求は受理されること自体が非常に稀です。3月に人事異動に対して「措置要求」(不受理でしたが)を出していたことも功を奏しているのかもしれませんが。やれることは全てやる。次なる一手も考えています。泣き寝入りはしません。

労働組合はなぜ、反戦平和活動をするのか。

私たちは公務員です。職務命令があれば、オリンピックに学徒を動員し、部署をまたいで駆り出される。(コロナ対応では、教育事務所職員が本庁へ応援に行きました。) 平和が一番。

つくづく思います。

読者の皆さまの投稿大歓迎です!!!

私自身、初めて書いたJIMJIMはオブザーバー参加の時でした。自分の考えを文字におこし、問題提起することは楽ではありません。しかし、その成果として、現状の把握ができ、記録として残り、自分自身に還元されます。JIMJIMを執筆してみませんか。

皆さまにとって、幸多きとしでありますよう心よりお祈りいたします。